

選挙ボランティア教本



日本維新の会学生部

はじめに ～ボランティアについて～

ボランティアルールについて、細かい取り決め等は基本的にありませんが、ボランティアで気を付けている事、感じた事等を記していきます。先ず意識として持っていて欲しいのは、緑の服を着て活動する場合において、一般有権者から見て議員・スタッフ・ボランティアの区別はつきません。場合によっては候補者と間違われる事があります。よって、自分の行動1つで候補者の票を逆に減らす様な事にも繋がりかねませんので、そこを意識してボランティア活動に従事して頂ければと思います。

また、思い込みでやらずちょっとした事でも気になる点があれば議員さんやスタッフさんに確認する等して、とにかく間違った行動を起こさない様にして下さい。

※基本的には18歳未満の方が参加出来るのは選挙前の政治活動で選挙が始まると選挙活動になり、こちらは参加する事は出来ません。

目次

1.街頭ビラ配り《外》	2
2.ポスティング《外》	4
3.ビラ折り作業《内》	5
4.証紙貼り（主に選挙初日）《内》	5
5.掲示ポスター貼り（選挙初日）《外》	6
6.電作（電話作戦。主に選挙期間中）《内》	6
7.宛名書き（選挙用推薦はがき。主に選挙期間中）《内》	7
8.練り歩き（桃太郎）《外》	7
9.自転車街宣《外》	7
10.政治活動用ポスター貼替（中級）《外》	8
11.街宣車に乗ってのウグイス又はカラス（上級）《外》	8
12.街宣車の運転（上級）《外》	9
13.街頭での応援演説（上級）《外》	9
14.街宣車の場所取り（上級）《外》	9
15.戸別訪問（上級）《外》	10
16.タウンミーティング（報告会）《内》	10

1. 【街頭演説】《外》

1-a. ビラ配り

ボランティアとして一番多く活動するのがこのビラ配りになります。

ビラは大きく分けて候補者本人ビラと確認団体ビラ（政党ビラ）の2種類になります。選挙期間中、候補者本人ビラを配って良い場合といけない場合がございますので、それは選対スタッフさんから指示があると思います。配って良いのか確認の上、配布する様にして下さい。

ビラ配りをする際に気を付ける事は、絶対に点字ブロックは踏まない事、周囲に気を付けて通行人にぶつかったり手が当たったりしない等、とにかく邪魔にならない様に気を付けて下さい。受け取って貰ったら必ず大きな声で「ありがとうございます！」とお礼を言いましょ。手渡す時も無言では無く、候補者ビラを配る際は「○○（候補者）を宜しくお願い致します」政党ビラを配る際は「良かったら読んで下さい」「日本維新の会です！」と一声掛けて渡すと受け取ってもらい易いです。

ビラは必ず手に取り易い相手の手元付近に向けて渡しましょ。受け取ってくれる方の目を見れば手元に目が行きます。受け取って貰えない方は手に目が行かないので何度か配っていると分かってくるかと思ひます。

また、アンチの方に文句を言われても決して言い返さずスルーしましょ。しつこい場合は議員さんと呼んで対応してもらいましょ。難しい質問等が来た場合も同様で、適当に答えずに「議員さん呼んでまいりますのでお待ち下さい」と言って議員さんに対応してもらいましょ。

選挙期間中はビラを受け取って貰った人に候補者が握手をしに行くスタイル等もあります。その際はビラを取ってもらった際に手を挙げて「候補！！」と大きな声で呼びましょ。

また、熟練のボラさんですと受け取って貰った方の層に合わせて政策を説明する方もいらっしやいます。例えば子育て中のママさんにビラを渡して「子供のための政策として○○がありますので是非読んでみて下さいね」等ビラを配る前にある程度そのビラの内容を把握する事も大事です。

何枚配れたか、どんな層が受け取ってくれたのか等自分なりの分析をして楽しむ事も出来ます。

1-b. 交通整理

街宣で大物の議員さんが演説する際、多くの有権者が演説を聞きに来られることを想定してロープやコーン等を使って通行人の邪魔にならない様、交通整理を行う事があります。

ここで気を付けなければいけないのが、点字ブロックを空ける事や自転車や車いすが行き来出来る位の歩道の確保が必要となってきます。そして、演説中に視覚障害者の方が歩いているのを見掛けましたら演説を止めなければなりません。視覚障害者の方は耳と杖を頼りに移動します。

マイクを使った演説の音で方向感覚を失います。可能であれば「どちらまで行かれますか？肩をお貸しします」とお声掛けし、演説の音の影響が無い位の距離まで同行してあげて下さい。それも議員さんや秘書（スタッフ）さんに伝え、指示に従って行動する様にして下さい。

また、最近では爆弾が投げ込まれたりする事件も発生しておりますので不審者がいないか等、周囲を常に見る事も重要な役割になってきます。

2. 【ポスティング】《外》

政党ビラ又は候補予定者・現職議員さんのビラを家のポストへ入れる作業です。

基本的には地図を見て決められた範囲の各世帯にポスティングしていきます。その際気を付ける事は《各ポストを必ず確認する事》ビラ禁止やポスティングお断り等、ポストに書かれていないか必ず確認して下さい。

マンションのポスティングはそのマンションにビラのポスティングが禁止されていないかを確認して下さい。管理人さんがいるマンションは必ずビラを見せてポスティングして良いかどうかの確認を取って下さい。ポスティング禁止しているマンションでも管理人さんがいた場合であれば、ダメ元で確認を取ってみて下さい。たまに許可を貰える場合があります。管理人さんが不在でポスティング禁止の張り紙がある場合はポスティングしない様にして下さい。

一軒家でポスティングする際、たまに家の外に出てきている方がいらっしやいます。その際は出来るだけ勝手にポストにビラを入れるのではなく「日本（大阪）維新の会です。このビラをポスティングさせて頂いているのですが入れさせて頂いても宜しいでしょうか？」と確認してポストに入れさせてもらうか「日本（大阪）維新の会です。このビラもし良かったら読んで頂けないでしょうか？」とお声掛けをして直接手渡しする様にしましょう。

また、他党のポスターが貼られている家へのポスティングに関しては各議員（選対）さんによって考え方が違いますので事前に確認しておくようにして下さい。例えば公明党のポスターを貼っている家がありますが国政選挙で公明党が出ない地域だったとします。その場合、公明党支持者であっても維新の候補者に入れる場合があります。その場合、ビラをポスティングする事があります。

ポスティングは地味な作業ではありますが、ポストに入れたビラは支持者でなくても必ず一度は手に取ってもらえる為、街頭でのビラ配りより効果は大きいとも言われています。1時間で何枚配れるか、何歩歩いたか等、自分なりに楽しみ方を見つけるのもポスティングの醍醐味です。

選挙期間中は証紙（候補者）ビラのポスティングは出来ませんのでご注意ください。

3. 【ビラ折り作業】《内》

A4 サイズのビラを配り易くする為、半分に折ったりする作業になります。1枚1枚丁寧に折る事を心掛けて下さい。オロナミンC等の瓶を使って折ると数枚纏めて尚且つ綺麗に折れますので試してみてください。その際は瓶のラベル等は剥がす様にします。(ビラに瓶のラベルのインクが摩擦で付いてしまう場合がある為)折ったビラは数を把握し易くする為、50枚毎や100枚毎に輪ゴムで纏めます。何枚毎に纏めるかは事務所スタッフさんに確認して下さい。選挙の際の証紙(候補者)ビラを折る際は証紙が貼ってあるかを確認しながら折る様にして下さい。2枚重ねで証紙が貼っていない場合がよくありますのでこの確認は重要です。

4. 【証紙貼り】《内》

選挙初日に証紙と呼ばれるシールを候補者のビラに張る作業です。候補者本人のビラはこの証紙が貼って無いと街頭で配れません。

町(村)議選・市議選・県(都・府・道)議選・首長選・衆議院選・参議院選と選挙によって配れる証紙ビラの枚数は違いますが、殆どの選挙ではこの証紙貼り作業は初日に終わらせます。但し参議院選挙は枚数が多く、数日掛けて証紙を貼る場合もございます。ビラに証紙を貼るだけの作業になりますが、二枚重ねになったりして証紙が貼ってないビラが出来ない様に注意して下さい。証紙ビラは何処に貼っても良いのでは無く必ず証紙を貼る場所があります。その場所にズレない様1枚1枚丁寧に貼る様心がけて下さい。

5. 【掲示ポスター貼り（選挙初日）】《外》

選挙の時に掲示される各候補者が連なる公営掲示板にポスターを貼る作業になります。

選挙当日の朝に、くじ引きで掲示板に貼るポスターの番号が決められます。その番号が決められたら、地図やナビを基に掲示板の場所に行き候補者のポスターを貼ります。車で移動し2～3人チームで動く事が多く、チームプレーとなります。ポスターを貼る際、前日や当日が雨の日だった場合、雑巾を用意しておき、掲示板が濡れている場合は一度拭いてから貼る様にしましょう。貼る際は枠内に収まる様、しわが出来ない様に丁寧に貼って下さい。

気を付ける事は他陣営もポスター貼りに回っていますので他陣営と会った場合は必ず「お疲れ様です」と挨拶をしましょう。先に他陣営が貼っている場合、番号が近いと邪魔になる事がありますのでその時は急がず待ちましょう。公営掲示板には番号があり、ポスターを貼った後はその番号を写真撮影しておくで後で貼って無い場所があった場合はそれで確認できますので写真は取る様にしましょう。例えば小学校等に掲示板がある場合、正門に1か所、南門に1か所といった様に同じ場所に複数掲示板がある場合があります。そういう場所で一か所だけ貼ってもう一か所貼り忘れる等といった事がよくあります。

また大選挙区では各候補者で助け合って複数の候補者のポスターを貼る場合がございます。例えば維新で10人候補者が出た吹田市では党内各陣営が協力し合い、エリアで分け10人の候補者のポスターを一つの掲示板に貼る作業を行いました。その場合は貼り間違いが無いかをしっかりと確認する様にして下さい。各候補者のポスターの裏に掲示板の振り当てられた番号をあらかじめ書いておくで間違いにくいです。

6. 【電作（電話作戦。主に選挙期間中）】《内》

選挙期間中、選挙事務所で頂いた電話帳を基に電話で候補者への投票を呼び掛けます。

主に国政選挙等大きな選挙では電作をする事が多いのですが、地方選挙等ではあまりする事はありません。電作は各陣営マニュアルがありますのでそのマニュアルに沿って話す様にして下さい。必ずしも維新に応援している方だけに電話するのではありませんのでその辺り気を付ける事が重要です。

7. 【宛名書き（選挙用推薦はがき。主に選挙期間中）】《内》

最近ではデータ化して住所氏名が印字されたシールを貼るだけの所もありますが、タウンミーティング（国政報告会市政報告会）等に来て頂いた際に書いて頂いた住所へ送る候補者への投票を呼び掛ける推薦はがきを送ります。その宛名書きの作業になります。汚さない様、丁寧に書く事を心掛けて下さい。

8. 【練り歩き（桃太郎）】《外》

街宣車では無く旗を持って歩きながら活動を行います。旗を掲げて連なって歩く事から桃太郎（最近ではピーチ）と呼ばれています。

この際気を付ける事は横に広がらない様、とにかく縦に一直線になり通行人の邪魔にならない様に歩きましょう。マイクやメガホンを持って「こちらは日本維新の会です。期日前投票が始まっております。是非期日前投票に行ってください」と投票を呼び掛けたり、「〇〇候補を宜しくお願い致します」と候補者への投票を呼び掛けたりします。旗を持つ役を任された際は街路樹等に引っ掛けない様細心の注意を払って下さい。旗の長さは調整出来ますので慣れるまでは短めにした方が無難です。

9. 【自転車街宣】《外》

桃太郎同様の活動で自転車に乗り活動します。

2023年3月よりヘルメットの着用が義務化されましたので自転車街宣する際は必ずヘルメットを着用する様にして下さい。桃太郎より気を付ける点で言えば、歩行者等と接触事故など起こした場合、大問題になる事があります。もし自転車乗り慣れてない方がいましたらもし自転車街宣を頼まれた場合申し出る様にしましょう。

10. 【政治活動用ポスター貼替（中級）】《外》

街中で見かけるポスターの貼替作業になります。

選挙が近づくと候補予定者のポスターが掲示出来なくなる為、党名のみポスター等へ貼り替える必要があります。主にワッポンというポスターを貼る際に使われるシールを活用します。ポスターの貼替の注意点としては、取れ易い壁などの場合はワッポンを多く使う、壁が剥がれないか等細心の注意を払いましょう。貼らせて頂いている家に挨拶をしてから貼り替えるかどうかは必ず事務所スタッフの方に聞く様にして下さい。

11. 【街宣車に乗ってのウグイス又はカラス（上級）】《外》

街宣車に乗ってマイクで候補者をアピールする役割がウグイスです。女性はウグイス、男性はカラスと言います。殆どの候補者はウグイス（カラス）を雇いますのであまり経験する事は無いかもしれませんが、急遽ウグイスの方が休まれたりして代わりにお願いしますと言われる事もあります。

初心者の方がウグイス（カラス）される際は必ず台本を貰う様にして下さい。手を振って頂いた有権者を見つけた場合、「お手を振って頂いてのご声援、誠にありがとうございます！」と言わなければならない為、台本を頭に入れ下を見ずに外の有権者に向けてアピールしなければなりません。もし、台本を見ながらの場合は他の方に外を見てもらい、手を振る有権者がいたら教えて貰うのが良いでしょう。手を振ったのに無視されたので投票しないなんて事をよく耳にしますので気を付けて下さい。

また、後方から車が来て街宣車が道を譲る際も、「大変ご迷惑をお掛けしております。どうぞ先にお進み下さい」等の気遣いの言葉が必要となってきます。有権者に心地良い声でアピールするのか、力強い声でアピールするのかは候補者によって考え方が違いますので確認してみてください。

12. 【街宣車の運転（上級）】《外》

街宣車の運転手です。

こちらウグイス同様に運転手を雇う場合が多いので、学生さんは運転する事は無いかもしれませんが、急遽運転する人が休んでしまった場合に頼まれる事があるかもしれません。安全運転は勿論の事ですが、街宣車で一番気を付ける事は高さ制限です。普通の車と違い、街宣車は高さがありますのでついつい普通の感覚で運転していると高架をくぐる際にぶつけてしまう事等があります。代わりの車を用意する事が出来ない為、事故を起こしてしまうとその選挙期間中は街宣車なしでの選挙活動になってしまいます。

また普通の車の速度で走らずゆっくり走りますので、常に後方から来る車にも注意しなければなりません。後方から車が来た際はハザードランプを付け、側道に停め道を譲らなければなりません。運転に自信がない方、免許取られて間が無い方はお断りする様にしてください。

13. 【街頭での応援演説（上級）】《外》

候補者は勿論、議員さんがマイクを使って党の政策、議員さんの今までの活動や何をしたいのか等をアピールする役割です。ボランティアがマイクを握る事は殆どありませんが、たまに「学生目線で話をして欲しい」等依頼される事があります。その際は候補者ビラの内容（政策）は勿論、どうい話をすれば良いのか事前に確認する様にしましょう。

14. 【街宣車の場所取り（上級）】《外》

候補者が街宣車に乗り、スーパーや駅等人が集まる場所に停まって演説を行う（スポット演説）際、前もって街宣車を停める場所取りが必要になってきます。

場所取りは街宣車が到着するまでその場所を他の車で確保し、街宣車が来たらその車を移動させ、次のスポット演説場所に向かいます。一見そんなに難しくなさそうな役割ですが、他の車が止まっていて停める場所がない場合や他候補が演説している場合、交渉も必要となってくる為とても難しい役割になります。出来れば議員、もしくは秘書同行する様にしてください。

15. 【戸別訪問（上級）】《外》

政治界限では「叩き」と言います。

ドアを叩きながら回る事を意味します（実際はインターホンですが）。ビラ等を持って行き、「何かお困り事はありませんか？」「今度選挙があるのですが維新を宜しくお願い致します」等一軒一軒回ります。こちらは政策を聞かれたりする事も多く、責任も重い役割で経験豊富でないと難しい為、議員さんや秘書さんと同行しての活動になります。

16. 【タウンミーティング（報告会）】《内》

会館等を借りて有権者の方を集めて開く説明会になります。

主な役割としましては、椅子や机などの設営、受付業務、席への案内、ビラの配布、片付け業務等をする事になります。慣れてくると質問時間でマイクを渡す役割（マイクリレー）や写真動画撮影、司会進行役等を任せられる事もあります。タウンミーティングは大体仕切られている議員さんや秘書さん、スタッフさんがおりますので、その方の指示に従って行動して下さい。

おわりに

以上が 1~16 までの政治ボランティアについての説明となります。大事な事は冒頭にも書きましたが、有権者は議員さんとボランティアの区別がつかない為、「私は議員では無くボランティアだから」という気持ちでやるのでは無く常に有権者の目を気にして議員さんと間違われても良い様な行動を心掛けて下さい。

また、有権者の目に触れる際は常に笑顔を忘れず、ダラダラした態度や行動をしない様心掛けて下さい。そして分からない事は必ず議員さんや秘書さん、スタッフさんに確認して絶対に独断の行動は控える様にして下さい。

この資料は日本維新の会及び大阪維新の会による党としてでは無く、あくまで【復活】リーマン (Twitter アカウント名) がボランティアを経験して作成したものです。その為、地域によってルールが違う場合もございますのでボランティアに参加する際はここに書かれている事だけを頼りにせず、必ず党公認の議員さん、秘書さん、選対スタッフさんに確認する様にして下さい。あくまで参考程度に覚えておくと役に立つレベルと思って頂けると幸いです。

2023 年 6 月 16 日

作成者 【復活】リーマン (Twitter アカウント:@osaka_ishin9)

編集者 金内亜紋 (日本維新の会学生部 筆頭副代表)

以上。